

立ち読み版



**事業を成長させる実践型人財として地域の活性化トップブランドを目指す**

中学生のときに親の事業が倒産し、一家離散を経験する。アルバイトをしながら高校に通い、卒業時の業界一周旅行での経験から、社会に影響を与える事業を志す。メディア事業を目指して広告代理店に入社、抜群の営業成績を収める。新規のプロモーション事業を成功させた後に退社し、ベンチャー会社に誘われて入社。任されたフリーペーパー事業を年商20億円の事業に育て上げる。その後、3人の仲間と独立して経営支援事業を開始。千葉県にある地域情報誌発行元「オニオン新聞社」の経営を承継して社長に就任し、前年比140%の業績を達成。地域活性化のトップブランドを目指す経営者に話を聞いた。

株式会社オニオン新聞社 代表取締役

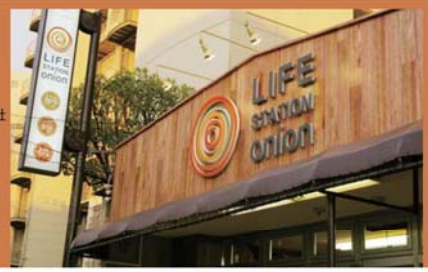
# 山本 寛さん

Profile: 高校卒業後に入社した広告代理店で抜群の成績を上げ、取締役として新規事業を任されて、会社の基幹事業に育てる。転職したベンチャー企業では、フリーペーパー事業を年商20億円の事業へ。その後、千葉をベースとするオニオン新聞社の経営を承継して社長に就任。1年目で前年比140%の売上を達成した。

聞き手・文章: 原 正紀 (脳クオリティ・オブ・ライフ代表取締役) (高知大学客員教授)  
写 真: 安岡 嘉

シリーズ **挑戦する**  
第115回 **経営者**

写真提供/オニオン新聞社



—— とてもチャーミングな社名ですね (笑)。どのような事業をされているのですか。

大きく分けて、地域でのフリーペーパー発行等のメディア事業と、施設の運営を行うコミュニティ施設事業の2つを行っています。メディア事業では、「オニオン新聞」と「オニオンクーポン」という2種類の主力媒体を発行しています。地域としては千葉県東部と南部をカバーしており、オニオン新聞は新聞の折り込みで、オニオンクーポンは駅や各種施設の街置きで配布しています。

オニオン新聞は、スポンサーの商品・サービスの広告を主体に、地域の人に役立つイベントやニュースを載せたタブロイド版の情報フリーペーパーです。県内17地区で約180万部を発行し、中高年からシニア層を中心とする安定した読者を保有しています。1985年創刊で、もうすぐ30周年の実績があります。オニオンクーポンは、3年ほど前に創刊した、やはりタブロイド版のクーポン誌で、県内9地域で約54万部を発行しています。

そのほかにもインターネットでのメディアとして、千葉県下のイベントや店舗情報を検索できる「オニオン World」を運営しています。また、地域の企業とタイアップしてイベントや商業施設情報を掲載する「オニオンタウン」というメディアを今年、発行しました。これは、ポスティングや交通機関への設置等で、エリア内の世帯カバー率を高めるものです。このように、新たなメディアも積極的に発行しています。

コミュニティ施設としては、「ライフステーションオニオン」を運営しています。当社の本社所在地、稲毛にある3,000人規模の団地内施設で、地元の農家さんの採れたて野菜やオーガニック商品等を扱う「オニオンマート」、本格的な欧風料理が気軽に味わえる「オニオンダイニング」、キッズスペース、ソーシャルインキュベーションラボが入っています。地域の拠点として、みんなに望まれる場所を作りたいと思っています。

もともとスーパーがあった跡地ですが、地域活性化のNPOが「街の駅オークヒル」を運営していて、地域のことを知るためにNPOや地元の有志と話をしているうちに、その施設を承継してくれないかと頼まれたんです。民間ノウハウで、経営的に成功させてほしいという依頼でした。経営目標としている「世界一の地域支援ネットワークを実現させ、社会に貢献すること」の達成のために、さまざまな事業展開にチャレンジしています。

—— 社長になったのは昨年夏とのことですが、どのような経緯から経営することになったのですか。

オニオン新聞はもともと、地元の女性グループがメディアを始めたのがスタートです。その後は、フリーペーパーが数多く利用されるようになった世の中の流れに乗って、成長してきました。4年ほど前に、IT系の上場企業が、フリーペーパーとインターネットのメディアの融合を目指して買収したのですが、その事業があまりうまくいかずに赤字を抱えてしまいます。そこで事業承継を相談されたのが、きっかけでした。

負債も含めて引き受けることになりましたので、そのときは結構悩みました。でも、誰かが引き受けなければ、せっかく続けてきた会社が消滅してしまいます。長きにわたってこれだけ地域に根差してやってきたのだから



写真提供/オニオン新聞社

世界一の地域支援ネットワークと社会貢献のために  
さまざまな事業展開にチャレンジしています

続きは雑誌で